

# 行われた質疑から

## 予算審査特別委員会

平成27年第1回定例会では、27年度予算の審査を行いました。予算審査の方法は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（千田美津子委員長、内田和良副委員長）を設置、3月12日から19日までの6日間で審査し、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。主な質疑の内容を掲載します。

### 総務部門

**質問** 音声コード等の工夫を行い、より多くの視覚障害者への情報提供が必要と思うが。

**答弁** 音声コードに読み込める量が限られており、読み取り機の普及も少ない。まずは声の広報の充実を図ってきたい。

**質問** 男性の育児休業の取得について、奥州市職員の状況と市長の考えは。

**答弁** 子育ては、どうしても女性の分野となってしまうが、男性もやって当たり前という意識の醸成が必要と考える。市役所内においても推進していきたい。

平成26年度の男性の育児休暇取得はなし。産後休暇は1名である。

**質問** 万年の森における太陽光発電工事の進捗状況と今後の構想についてど

う考えるか。

**答弁** 53・8haのうち35haを太陽光発電としている。2月から伐採工事を行っており、4月起工式、6月から造成工事、平成28年11月から運用開始の予定である。

**質問** 地域ビジネス推進費事業経費についてどう考えるのか。

**答弁** 今年度で6次産業化ビジョンの策定が終了する。今後は伝統作物の商品化、有機栽培の米・野菜ブランド化、玄米の売り出し等を行っていきたい。提案型公募事業にも取り組む予定である。

**質問** 定年退職者のほか勧奨での退職者は何人か。メンタル問題での退職者は。第二次職員適正化計画の見直しが必要ではないか。

**答弁** 変化に応じた対応ができるように状況を見極めながら判断していく。勧奨による退職者は18名。メンタル問

題での退職者は4名である。

**質問** 太陽光発電設置の事業に対して最初に設定された3億2千万円は使え切れたのか。黒滝温泉に係る2億円は太陽光でこなしきれたのか。地区センターに利用するために使うのか。



前沢地区センターに太陽光発電パネルを設置

**答弁** 地区センター10箇所です約1億3600万円程度。黒滝温泉への導入も検討したが今のやり方だと使えない。公共施設への太陽光発電の設備事業に全部使う予定である。

### 教育厚生部門

**質問** 学校修繕費について、小中学校全校の要望総額と予算額はいくらか。

**答弁** 学校側の要望総額は、4億3400万円、予算額は6200万円。他に大規模改修費2千万円である。

**質問** 文化会館の指定管理料の基準は何か。



まえさわふれあいセンター

**答弁** 施設の大きさに比例する。

**質問** 不登校の児童生徒に対する学びと心の指導員の活動内容は。

**答弁** 週1回訪問し、学習の遅れに対応し、学校生活をサポートしている。

**質問** 認可外保育所の実態と市の指導責任は。

**答弁** 11カ所ある。県へ届出義務があり、調査時に市が立ち会いする。

**質問** 小中学校の図書購入費について、地方交付税の何%か。

**答弁** 34・8%である。

**質問** 成人式の評価は。

**答弁** 新成人たちの協働によって成り立っている。行政は黒子に徹するべきである。

**質問** 心身障がい児福祉について、衣川区での対応は。

**答弁** 前沢区で、一緒に行なっている。食育について、庁内での他の部署との連携は。